

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005年 3月 4日作成)

委員会名	防水材料促進耐候性試験方法小委員会	主 査 名：田中享二
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (防水工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2001年 4月 ～ 2005年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	防水材料は、長期の耐候性が要求される。その予測手段として促進耐候性試験がなされるが、防水材料に対しての試験方法は十分検討されていない。本委員会では、従来にない長時間の促進耐候性試験と日本各地での長期間の暴露試験を行い、両者の関係を明らかにすることを目的とする。	
委員構成 (委員名 (所属))	田中享二 (東京工業大学建築物理研究センター)、清水市郎 (財団法人建材試験センター)、山宮輝夫 (大成建設株式会社)、岡本 肇 (株式会社竹中工務店)、竹本喜昭 (清水建設株式会社)、中沢裕二 (田島ルーフィング株式会社)、古市光男 (日新工業株式会社)、岩本憲三 (三ツ星ベルト株式会社)、中野五郎 (アーキヤマデ株式会社)、鈴木 博 (三井化学産資株式会社)、榎本教良 (サンスター技研株式会社)、高根由充 (財団法人日本ウェザリングテストセンター)、松村 宇 (北海道立北方建築総合研究所)、富板 崇 (ウェザリングワークショップ)、荒井晴彦 (株式会社ダイフレックス)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2004 年度予算	120,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004.3.15 13名, 2004.5.11 14名, 2004.7.6 14名, 2004.9.10 11名, 2004.10.5 (宮古島)6名, 2004.11.9 13名, 2005.1.12 15名,
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>(1) 本年度の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種促進試験をすべて完了させた。(キセノン、サンシャイン、QUV、メタルハライドウェザーメータ試験、熱劣化試験) 防水材料屋外暴露試験 (旭川、銚子、宮古島) は現在3年目を経過している。 防水層性能耐候性屋外暴露試験 (建研プロジェクト終了後試験体) を引き継ぎ、暴露試験 (陸別、つくば、宮古島) を行った。 <p>(2) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> シーリング材の耐久性評価の新しい試験方法、評価方法の開発を行った。 屋外暴露試験結果と促進耐候性試験結果との関係は、暴露試験がまだ初期のため十分な考察はできていないが、傾向としてキセノン、サンシャインは相関性が高く、メタルハライドは促進性が高いという結論を得た。 結果の一部を2004年度日本建築学会大会に4編の論文として発表した。 <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初計画した研究はすべて予定通り完了した。
その他評価すべき事項	特になし。